平成30年度第１回三条地区協議会　会議録（概要）

●会議を開催した日時及び場所
日　時　　平成30年５月30日（水）　午後２時～午後３時40分
場　所　　三条市役所本庁舎　４階　第２委員会室

●出席委員（◎会長、〇副会長）
◎兼 古 耕 一　　布 施 栄 一　　羽 生 俊 昭　　碁 石　　學
名古屋 澄惠　　内 山 兼 介　　五十嵐　清　　小 林 斉 子
杉 野 真 司　　石 黒 正 晴　　宮 島　　健
以上　11人
（欠席委員）
〇桑 原 喜平太　　米 山 俊 司　　丸 山 増 雄　　石 本 貴 之
以上　４人

●出席者
総務部長　駒 形 一 興　　政策推進課長　平 岡 義 規
（政策推進課）　係長　前 山 直 人

●傍聴者
なし

●報道機関
なし

●内　容
１　開　会(14:00開会)
２　出席者紹介
３　議事
(1) 行政評価に基づく平成29年度事後評価について
（政策推進課長　説明）
資料№.１－１～№.１－５、参考資料№.１～№.３により行政評価に基づく平成29年度事後評価について説明
～質　疑～
（宮島委員）
Ｃ評価が６項目のうちの５項目が若者の転入促進である。三条だけでなく、日本中の地方都市が抱えている問題であるが、対策としては抜本的に見直しをするのか、一つ一つ個別に対策をしていきなんとかしようと考えているのか。
（政策推進課長）

何か一つの取組により直ちに成果が上がるものとは思っていない。

三条はものづくりのまちであることから、例えば、ものづくりと移住・定住促進を絡めてみるなど、取組を横串で進めていくことも必要と考えている。

若者の転入促進については、例えば、全国各地で取り組んでいる地域おこし協力隊制度の活用もあり、この人数も一つの指標となる。県内で見ると三条市は上位におり、平成 29 年度では 18 人を市外から呼び込んでいる。ただ、制度運用の３年間という期間で帰ってしまう人もいる。そうした中で必要なことは、真に三条のいいところを知ってもらい、外から肯定的に三条を捉えてもらうための取組に注力していくことであるとも認識している。

評価については、結果として、定住に結びついていないところを厳粛に捉え、Ｃ評価としている。

(小林委員)

指標の取り方について、例えば、虐待管理の件数が指標となっているのがおかしい。目標数値に対して虐待件数が減ったら評価はＡ評価になるのか。指標が虐待ありきになっている。

虐待は社会的背景もある。関係団体が小中一貫推進課だけということはありえない。当然、福祉、経済、子育て、生涯学習も関わってくる。全庁的な取組が必要である。

(政策推進課長)

指標に係る委員ご指摘の趣旨は理解できるため、後期実施計画の策定の中で検討してまいりたい。

虐待の管理については、子育て支援課の総合サポートシステムの中で、警察や様々な機関と連携しながら、発生の抑制に取り組んでいるところである。

(名古屋委員)

筋力の低下が高齢者の健康寿命を左右する。筋力をつけることで、頭も働くので、筋力をつける取組をしてほしい。また、出掛けるための交通手段についても考えてほしい。

(政策推進課長)

健康寿命 2.78 歳という三条市の数値は県内他市と比較して上位である。市では、スマートウエルネス三条を標榜し、ずっと健康でいられるよう、健康づくり、福祉、高齢介護、食育はもちろん様々な方向から、取組を行っている。

直ちに大きな結果が出るものではないが、委員ご指摘の筋力というのは的を射た視点であるとも考えている。まずは現状の取組に注力しつつ、引き続き、検討を進めてまいりたい。

(小林委員)

高齢介護課が行うセカンドライフ応援ステーションについて、マッチング件数が 3,263 件へと増えているが、コーディネーター２名でどう張り付けるのか不思議であった。

先日放課後子ども教室の関係で聞いたところカテゴリー整理がされておらず、

各課が情報を欲しいときにこれでは選べない。介護保険を原資としたこのシステムを再考して、カテゴリー名簿を整理しつつ、各現課が予算化して、直接ボランティアの人達に当たるシステムは考えられないか。

（政策推進課長）

セカンドライフ応援ステーションについて、具体の事務をどうとっているかは不案内であるが、カテゴリー別に整理するなどは仕事を行う上で、ごく当たり前の扱いとも考えられる。

どういった方法が効率的で、また、何より登録していただいた方々にご迷惑が掛からないのか、改善の必要はないのか、といったことについて所管課に申し伝える。

（小林委員）

公共施設等総合管理計画において耐震が不明となっている施設については、いつ解消するのか。地域住民の不安のままにしておくのか。

（政策推進課長）

確認し、報告させていただく。

(2) 新市建設計画登載事業の進捗状況について

（政策推進課長　説明）

資料№.２－１～№.２－４新市建設計画登載事業一覧表等で進捗状況及び平成 30 年度の事業概要等について説明

～質疑なし～

(3) その他

（内山委員）

三条市が先進事例として視察の受け入れをしているなど誇れるものは何か。

（政策推進課長）

具体な数値は持ち合わせてないが、小中一貫教育や工場の祭典、コト・ミチ人材、食育と農業を絡めた取組など、三条市は非常に多くの視察の受入れを行っている。

また、イギリスにジャパンハウスという日本の文化、産業などをアピールする施設があるが、そこに今年度、工場の祭典が取り上げられることとなった。これは非常に誇らしいことであると認識している。

（布施委員）

空き家について、どういう取組をしていくのか。

（政策推進課長）

空き家対策については、環境課で所管をしており、自治会長等から協力いただき、ほぼ把握ができてきているところである。

意見があったことを所管に申し伝え、確実な把握、管理につながるよう、引き続き、必要な対策を検討していきたい。

（政策推進課長）

例年この地区協議会は、年１回開催しているが、今年度は後期実施計画の策定年であるため、９月から 10 月頃に再度皆様に集まってもらい、計画について意見をいただきたいと考えている。

４　閉会（15：40 閉会）